



1 多くのサポーターの声援を受け、昨シーズンF1昇格を決めた選手たち。2 調印式後の記念撮影で協定書を持つボルクバレット北九州の中村恭輔社長（中央左）と黒土孝司町長（中央右）、ボルクバレット北九州公式マスコットキャラクター「バレ子」（左奥）、福智町公式マスコットキャラクター「福天」（右奥）3 コロナの影響で遅れていた練習が再開となり、初のF1挑戦に練習から熱が入る。4 週2回練習を見守り、選手とコミュニケーションをとる中村社長（手前左）

プロフットサルチーム ボルクバレット北九州 & 福智町

中村恭輔代表取締役社長出身地

相互のさらなる高み目指し フレンドリータウン協定締結

2020年7月8日に地域活性化やスポーツの振興などを推進するため、フレンドリータウン協定を締結した、ボルクバレット北九州と福智町。中村社長に協定締結に込めた思いをうかがいました。



町とプロ団体の連携で 地域活性化をアシスト

福智町（金田）出身の中村恭輔さんが代表取締役社長を務めるプロフットサルチーム「ボルクバレット北九州」は、九州サッカー協会主催の九州フットサルリーグ1部で5連覇したことが評価され、2018年4月からプロリーグ「Fリーグ」に参戦。福岡県内唯一のプロフットサルチームとなりました。昨シーズン、1敗のみの好成績

績でチームを2位へと導き、Fリーグ2部から1部へ昇格。フットサル国内最高峰の舞台へわずか2年で駆け上がりました。さらなる高みを目指すボルクバレット北九州は「6年以内のリーグ制覇、アジア王者として4年以内の日本代表輩出」と大きな目標を掲げています。その第一歩となる今シーズンが9月から始まり、ホームゲームは10月に予定されるなど注目が集まります。

そんな急成長を遂げるボルクバレット北九州と福智町が、地域活性化やスポーツ振興などを推進していくため、フレンドリータウン協定を締結。ボルクバレット北九州として初となる自治体との調印式が7月8日に行われました。

黒土町長は「スピード感のあるフットサルの魅力を多くの町民に知ってもらい、チームとともに町も成長していきたい」とあいさつ。中村社長は「新型コロナウイルスで沈みがちな町を少しでも盛り上げたい」と意気込みを語りました。今後、お互いの強みを生かした取り組みで連携を深めていく予定です。

故郷を誇りに思える まちづくりのゴールへ

「福智町の魅力を全国、世界へ発信することに関わっていきたい」と話す中村社長。フットサルというスポーツもまだまだ知られていませんが、相互のアイデアと発想を共有し、連携協力を進めたいと力を込めます。まずその第一歩として、子ども向けのフットサルスクールを福智町で開校しました。「生まれ育った町を、町民が誇りに思う町へと変えていきたい」と語った中村社長の目は愛すべき故郷への思いにあふれていました。

株式会社ボルクバレット北九州 中村 恭輔 代表取締役社長

福智町出身。社会人サッカークラブのFCセントラル中国（現デッツオーラ島根）でサッカー天皇杯出場。2009年にフットサルに転向しボルク北九州へ入団、主にゴールキーパーとして活躍。2017年にボルクバレット北九州の選手兼社長に就任。一度、選手に専念するため社長を退くが、2019年に選手を引退し、再度ボルクバレット北九州の社長に就任。今シーズンからF1で戦うチームのさらなる躍進のため、影で支えている。



フットサルスクール田川校



小学1年生から小学6年生が対象。現役プロフットサル選手やプロコーチが指導。無料体験会がありますので、お気軽にご参加下さい。

- ▶日時：毎週 金曜日
- ▶対象：【小学校1年生～3年生】
17:00～18:20
【小学校4年生～6年生】
18:30～20:00
- ▶場所：金田ドーム

無料体験会の申込はこちら↓

